

第106回講習会
科学英語の書き方とプレゼンテーション
〔共催 精密工学会東海支部〕

協賛 自動車技術会中部支部, 計測自動制御学会中部支部, 日本塑性加工学会東海支部,
日本設計工学会東海支部, (財)名古屋市工業技術振興協会, 愛知工研協会

開催日 2008年7月24日(木) 10.00 ~ 17.00

会場 名古屋大学シンポジオンホール〔名古屋市千種区不老町〕
地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車, 徒歩5分
(地図) http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/

趣旨 2003年より開催されて参りました、英語による文書作成およびプレゼンテーション能力のレベルアップを目指した講習会は毎回大変な好評を頂いており、今年度はプレゼンテーションに重点を置いた内容で第106回講習会を企画致しました。

情報化・国際化が進む現在、グローバルな技術競争が進展している企業環境の中では、英語による発表や論文・資料の作成機会が増えており、技術者のプレゼンテーション、論文・報告書作成の基礎となる技術英語の表現能力向上がますます必要となっています。この講習会では、特に外国人の生の英語によるプレゼンテーションを体験して頂くため、外国人講師には英語で講演をしていただきます。幅広い分野からのご参加をお待ちしております。

また、参加者の強い声を反映し、本年度10月により上級を目指した講習会“科学英語によるプレゼンテーションの実践(仮称)”を開催しますので是非こちらの方にもご参加下さい。(学会誌8月号にて案内予定)

題目・講師等

10.00 ~ 10.10 (開会の挨拶)

10.10 ~ 11.40 技術英語の文法と基礎(日本語で講演)

誤り易い表現, 文法の基礎, 日本人の英語の癖、英語の適切な表現の選び方等を, わかり易く解説する。

名城大学 人間学部 准教授 村田 泰美
〔Ph.D. (Aust. Natl. Univ.)〕

昼食

13.30 ~ 15.20 英語によるプレゼンテーション(英語で講演)※

国際会議に於けるプレゼンテーション(会議での話し方、発表に役立つ決まり文句、研究発表の留意点)について、詳しく紹介する。

名古屋大学 准教授 Edward T. Haig
〔Ph.D. (London Univ.)〕

休憩

15.25 ~ 16.55 科学英語と技術論文(英語で講演)※

日常英語と科学技術英語の違い、数式・記号・図表の表し方と読み方、科学技術論文・研

究論文の作成、査読への対応等について説明する。

名城大学 教授 Abraha Petros

〔工学博士(名古屋大)〕

16.55 ~ 17.00 (閉会の挨拶)

※注記) 2人の外国人講師は英語で講演されますが、日本語もある程度理解できますので
質問は日本語で可能です。

聴講申込締切 2008年7月11日(金)

定 員 100名

参加費 会員6,000円(学生員3,000円)、会員外12,000円(一般学生6,000円)・・・
(教材費込み)

会員4,000円(学生員1,000円)、会員外10,000円(一般学生4,000円)・・・(教材を
各自で購入の場合)

教材を各自で購入の場合は「連絡欄」にその旨を明記してください。

なお教材(コロナ社刊「科学英語の書き方とプレゼンテーション」, 2004年5月発行
定価2,310円)は会場にても特別価格(2,000円)で販売します。

申込方法 東海支部ホームページ(<http://www.jsme.or.jp/tk/>)からお申し込み下さい。
詳細はホームページをご覧ください。

また FAXにてお申込みいただく場合は「東海支部第106回講習会申込み」と題記し、
(1)氏名, 所属学会, 会員資格, (2)参加券送付先(勤務先か住所を明記), (3)勤務先
名称, 所属部課名, 所在地, 電話番号および FAX 番号, (4)補助資料送付先 E-mail ア
ドレス(講習会の補助資料をあらかじめ貼付ファイルでお送りする場合に使用しますの
で、携帯電話メールアドレスでのご登録はお控え下さい)。参加費は、当日受付でお支
払い下さい。

申 込 先 日本機械学会東海支部 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部機械工学教室内
電話&FAX (052) 789-4494

ご 注 意 参加決定者には後日参加券をお送りしますので、当日必ずご持参ください。